

Véronique Rouyer 氏 (OECD/NEA) 特別講義

我が国固有の特徴を踏まえた原子力リスクマネジメントの
知識基盤構築のための教育プログラム
(東京大学「原子力規制人材育成事業」)

日時 2022年11月14日(月) 15:00 ~ 16:30

この度、Véronique Rouyer 氏 (OECD/NEA原子力安全技術・規制課 課長)をお迎えして、大学院学生を対象とした特別講義(オンライン)を行うことと致しました。ご興味がある学外の方のご参加も歓迎いたします。ご参加を希望される方は以下のフォームよりご登録ください。

> 講演者

Véronique Rouyer 氏 (OECD/NEA原子力安全技術・規制課 課長)

> 講演タイトル

The NEA's contribution to strengthening the global nuclear safety regime after the Fukushima accident and NEA's perspectives

福島事故後の原子力安全の国際的枠組み強化におけるNEAの貢献とNEAの視点

> 経歴

Véronique Rouyer 氏は、原子力安全分野において30年を超える経験を有し、特に、科学技術計画の作成や調整、核燃料サイクルや輸送における安全解析やリスク評価に関わる研究、反応度、臨界、熱水力、核燃料サイクル技術、炉物理に関する講義や研修のマネジメントに関する幅広い経験を有する。2019年からOECD/NEA原子力安全技術・規制課の課長として、事務局長のもと、効果的かつ効率的な原子力安全規制や監視の実現や科学技術に関する知識基盤の発展に関する支援など原子力安全の国際的枠組みの強化を目的としたさまざまな活動に取り組んでいる。

> 登録フォーム

<https://forms.gle/ceCgS9S5fw6Q3nju5>



東京大学原子力規制人材育成事業「我が国固有の特徴を踏まえた原子力リスクマネジメントの知識基盤構築のための教育プログラム」

問い合わせは nra-risk-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp